

製品安全データシート

(MATERIAL SAFETY DATE SHEET)

【製造者情報】

会社名 都インキ株式会社
住所 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東 1-7-13
担当部門 技術課
電話番号 06-6961-0101 FAX 番号 06-6961-0303
緊急連絡先 技術課 電話番号 06-6961-0101
作成 改訂 2009年6月18日
整理番号 Z-65-02

製品名 マスターH液

【物質の特定】

単一製品・混合物の区別：混合物
成分名：フィチン酸
化学式：特定できない
CAS NO：83-86-3
官報公示整理番号：既存化学物質 3-25-16
国連分類／国連番号：分類 腐 (8) 1760

【危険有害性の分類】

分類の名称：腐食性物質
危険性：
有害性：人体に対する毒性、刺激性はきわめて低く、酢酸、クエン酸と同程度の作用がある。
環境影響：現在のところ有用な情報なし

【応急処置】

眼に入った場合：清浄な水で15分間以上洗浄したのち、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合：水と石鹼で洗う。
飲み込んだ場合：水で口の中をよく洗ったのち、医師の手当てを受ける。

【火災時の措置】

消火方法
1. 初期の火災には、粉末、炭酸ガスを用いる。
2. 大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。
棒状水は、火災を拡大し危険な場合がある。
3. 周囲の設備などに散水して冷却する。
4. 消火作業の際には、風上から行き必ず保護具を着用する。
5. 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火剤：霧状の消火液、粉末、炭酸ガス、泡が有効である。

【漏出時の措置】

漏出した場所の周囲にロープをはるなどして立ち入り禁止とする。
作業にあたる者は、保護眼鏡、ゴム手袋、ゴム長靴を着用する。土砂等に吸着させてバケツに回収し、消石灰等で中和し回収し、多量の水を用いて洗い流す。

【取扱い及び保管上の注意】

皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らない様にする。
休憩場所には、手洗い、洗顔等の設備を設け、取扱い後に、顔等をよく洗う。
直射日光を避け、密栓して保管する。

【曝露防止措置】

管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 :
設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気を設置する。
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具 : 状況の応じ、有毒ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

【物理／化学的性質】

外観等 淡黄色の液体
PH : 4,3
その他 特に無し

【危険性情報】

引火点 : なし (不燃性)
引火性 : なし
自己反応性、爆発 : なし 発火性 (自然発火) : なし
安定性、反応性 : 通常取扱条件においては安定である。
その他 : なし

【有害性情報】

刺激性 (皮膚、眼) : 有り
感作性 : 眼への刺激は比較的弱く、そのまま放置すると痒みが生じる。
急性毒性 : LD50 経口マウス 1650mg/Kg
慢性毒性 : 知見なし

【環境影響情報】

分解性 : 現在のところ有用な情報なし。
蓄積性 : 現在のところ有用な情報なし。
魚毒性 : 現在のところ有用な情報なし。

【廃棄上の注意】

本液を未使用のまま単独で破棄する場合、特別管理産業廃棄物に該当する。処分業者に委託する場合は、特別管理産業廃棄物処分の免許をもつ業者へ、処理依頼する。
廃棄時に、該当する法規 : 廃棄物処理法 : 特別管理産業廃棄物
水質汚濁防止法 : 生活環境項目 下水道 : 下水の排除の制限
容器の中身を使いきってから破棄する。
その他関係法令の定めるところに従う。

【輸送上の注意】

取扱い及び、保存上の注意の項の記載によつて、法令の定めるところに従う。

運搬、積み荷の際、衝撃、転倒、墜落防止等につとめ、慎重に取扱う。

【適用法令】

化審法	: 3-2516
消防法	: 該当なし
労働安全衛生法	: 該当なし
船舶安全法	: 該当なし
海洋汚染防止法	: 該当なし
化学物質管理促進法	: (PRTR 法) 該当なし

【引用文献】

1. 製品安全データシートの作成指針 (日本化学工業協会)
 2. 原油性状及び石油製品出荷性状表 (石油連盟 平成 2 年 5 月、平成 4 年 2 月)
 3. 危険・有害物便覧 (中央労働災害防止協会)
 4. 危険物、毒物処理取扱いマニュアル (海外技術資料研究所 1974 年 4 月)
 5. IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF CARCINOGENIC RISK TO HUMANS : VOLUME 45
-

【その他】

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱を確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。

取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱等の実態の応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。危険、有害の評価は必ずしも十分ではないので、取扱には十分注意してください。